

# あいおい

令和元年 7月 19日  
郡上市立 相生小学校  
No. 4 和田 誠司

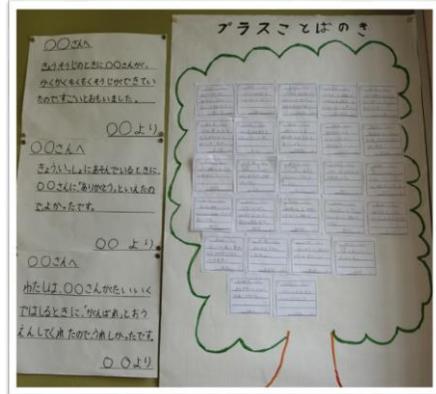
## いじめゼロの学校をつくります。

### 相生小絆（きずな）宣言より

7月5日（金）にきずな集会を開きました。全校で取り組んだ「プラス言葉の木」の取組内容と成果を交流したり、きずなアンケートの結果を振り返ったりしました。相生小絆（きずな）宣言は、困ったことがおきたらすぐに相談できる絆づくりをめざして次のように宣言したものです。

- 「あいての気持ちをよく考えます。」
- 「いつでも誰にでもやさしくします。」
- 「おもいやりのプラス言葉をつかいます。」
- 「いじめゼロの学校をつくります。」

5月のきずなアンケートでは、「相生小学校は、いじめゼロの学校になっているでしょうか？」の問いに対して「とてもそう思う。」と回答した児童は37人、「まあまあそう思う。」「あまりそう思わない。」「まったくそう思わない。」と回答した児童の合計は84人もありました。そこで



### 【1年生のプラス言葉の木】

困っている児童に個別に話を聞いたり、全校でプラス言葉の木の取組を行ったりして、児童も職員も一緒に絆づくりを進めてきました。まだ自分の考えや思いを文字に書き表すことが得意でない1年生も先生たちに助けをもらって一生懸命取り組みました。そして郡上市人権擁護委員会からいただいた人権七夕に思いやりの願いをこめて短冊を飾りました。きずな集会の交流では、「けしゴムのかけらが落ちていたとき教えてあげたら、『ありがとう。』といってくれたのでうれしかったです。」など心温まるエピソードを確かめました。後日実施した7月のきずなアンケートでは、すべての項目で5月より好ましい結果が出ていました。それでも「相生小学校は、いじめゼロの学校になっているでしょうか？」の問いに「とてもそう思う。」と回答した児童は49人。プラス言葉が広がったと同時に「自他の言動で傷ついている人がいるかもしれないこと」「いじめは絶対に許されないこと」という見方や考え方も広まったのではないかとアンケート結果を捉えています。児童は純粋で、その人権感覚は大人以上に敏感で繊細です。家庭・地域で気付かれた児童の悩みや困りごととはぜひ学校にもお知らせください。児童の心と体、そして生命を守り抜くと職員一同決意しております。

## 7月「じんけん セタ(たなばた)」

今年も郡上市の人権擁護委員で相生の子どもを育てる会の会員である上野道子様より人権セタをいただきました。思いやりの心を育むこの取組をこれからも大切にしていきます。上野様にはきずな手帳の企画段階からご協力いただきました。ありがとうございました。



ねがいをこめたたんざく

## 7/2 木製ジャングルジムづくり

くむんだ一郡上の兼定裕嗣さんを講師に招き、5年生が木製ジャングルジムを作りました。清水寺などと同じ釘を1本も使わない日本伝統の工法を体験しました。国語の教材と関連した郡上学です。来年の修学旅行が楽しみになりました。



## 7/10 トップアスリート派遣事業 陸上教室～走り幅跳び～

昨年の全日本実業団陸上男子走幅跳優勝(記録 7m84cm)された松原瑞貴選手を講師に、4～6年生を対象に陸上教室を開きました。走り方や跳び方を学年に応じて指導してもらいました。休み時間には全校が松原選手の大ジャンプを見せてもらいました。「松原選手は 7m80cmも跳べたのはたくさん努力したからなのすごいいと思いました。自分もなりたい夢に努力したいです。」(きずな手帳から)



# 「安全・安心を確保し事故ゼロ 児童の生命を守る」

夏休み中は、熱中症・水の事故・交通事故等のリスクが特に心配されます。家庭でしっかりやくそくと役割を決めて安全・安心を確保してください。相生の子どもを育てる会をはじめ地域の会議でも「川遊びは必ず保護者が安全確保に責任を持つ。」「板取方面から那比・亀尾島・稲荷方面への交通量増加に注意する。」のご助言がありました。お願いします。

## 自分のよさを見つける夏休みに

学年に応じて、学習面・生活面を中心に事前の学習を終えました。「夏の友」をガイドブックにして取り組むことは有効です。学校では、プール開放・図書貸し出し・グングン学習など希望する児童を対象に計画しています。相生公民館の行事にはカヌー教室が加わり学校のプールを使って開催されます。学校の授業で学んできた力を生かして家庭や地域で自分のよさを見つけたり、発揮したりできるとよいと思います。例えば・・・

### 「写真日記」

- ① 家族で出かけたときに風景や食事などの画像を記録する。
- ② プリントしノートに貼り付け、説明や感想の文を書き加える。
- ③ 家族のコメントを書き加える。

### 「俳句手帳・標語手帳」

- ① きずな手帳などに5・7・5の音で自分やまわりの人のよいことば・よい行いを書く。
- ② 季節の情景を表す言葉で時期（いつ）を表すように工夫する。
- ③ 夏休みの後半に書き残した作品を読み比べて、標語コンテストに応募する作品、各種俳句コンクールに応募する作品を選び、応募用紙に清書する。
- ④ コンテストやコンクールに応募する。

### 「めざせ運動会 ランニングチャレンジ」

- ① 親子で相談して家の近くの安全な場所で20～30m程度のランニングコースを決める。
- ② ラジオ体操に参加しハンコをもらう。ラジオ体操後、①のランニングコースで全力ダッシュをする。週1回程度タイム測定するとよい。
- ③ 家族に報告して花丸やシールをもらう。
- ④ 夏休みが終わったら校長と50m走のタイム計測をし、スポーツテストからの伸びを確かめる。そして、運動会でかいっぱい走る。

## お子さんの宝物をお知らせください。

8月28日(水)～30日(金)に夏休み作品展を予定しています。夏休みを中心に取組まれた作品を展示させていただきます。コンクール等への応募希望があれば連絡帳でお知らせください。また、スポーツ活動・文化活動・社会貢献活動での受賞等もあわせてお知らせください。ご披露させていただきます。

## 子育て相談について

PTA総会でご紹介した美濃教育事務所スクールソーシャルワーカー(以下、SSWと表記)の松川芳高先生による子育て相談を受け付けています。SSWという役職は、福祉士の資格のある福祉的な相談や対応の専門家です。学校も校長をはじめ各担当者が指導・助言を受けて教育活動や児童への支援体制を改善しているところです。これまでにSSW制度を活用されてきた学校からは「学校との連携が円滑になった。」「行政の仕組みが利用できて子育てがしやすくなった。」などの報告がたくさんあったそうです。

まずは気軽に相談してください。窓口は担任・養護教諭・教頭・校長です。

## 放課後児童クラブ

今年の夏休みは相生小学校を会場にして児童クラブが開設されます。授業のあるときは八幡小学校の児童クラブを利用しているため、下校時に八幡小学校に移動する必要があります。今回は夏休みだけの試験的な実施と聞いています。

児童の過ごしやすさ、保護者の利用しやすさの視点からは、年間を通して相生小学校での児童クラブ開設を要望したいと考えています。保護者・地域の方からのご意見・ご助言がありましたら校長までお知らせください。また、この夏休みの開設についてご理解・ご協力をお願いします。

## 8月・9月の主な行事予定

8月18日(日)	資源回収・奉仕作業	9月14日(土)	運動会(雨天順延)
25日(日)	夏休み最終日	19日(木)	クラブ
26日(日)	授業再開	26日(木)	なかよし遊び
28(水)～30(金)	夏休み作品展	26日(木)	クラブ
9月2日(月)	PTA挨拶運動	9月の交通指導日 お願いします。 2日(月) 18日(水) 24日(火)	
13日(金)	運動会前日準備		

今号より紙面をリニューアルしました。また、学校メールによるご案内・アンケート等の実施も試行しています。

お気づきのことがあれば連絡帳でお知らせください。(和田)